

# 須坂建設事務所 河川事業による整備効果事例

## (一)八木沢川 須坂市 小島 (河川改修事業)

- 信濃川水系八木沢川は、蛇行が激しく川幅が狭いため、降雨・出水のたびに氾濫した経緯があり、昭和35年度から段階的に改修を実施。
- 昭和62年度から小島工区L=1,030mの改修に着手し、平成17年度に護岸工（暫定断面）が完了し、関連事業として、千曲川への流下能力向上のため、国土交通省による八木沢川樋門改築が平成20年度に完了したため、外水による浸水被害が軽減された。



平面図



S58.9浸水状況



八木沢川



改修前



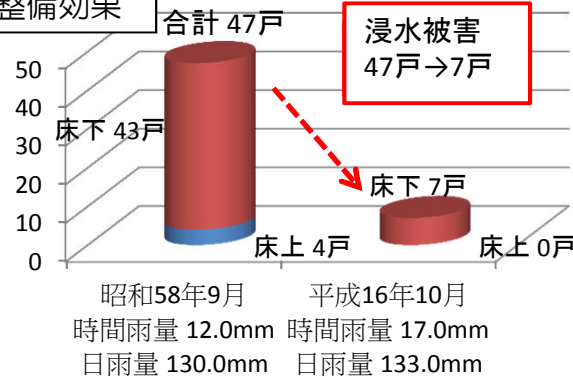
改修後



全体計画 L=1,030m

□: 浸水範囲 (S58.9)

整備効果



浸水被害  
47戸→7戸

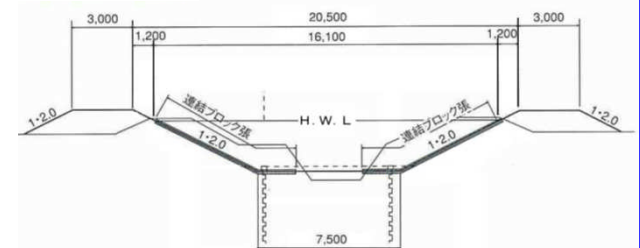
床下 7戸

床上 4戸

床上 0戸

標準横断面図

【整備内容】  
護岸





# 須坂建設事務所 河川事業による整備効果事例

## (一)八木沢川 須坂市 小島 (河川改修事業)

### 【生活環境の向上】

- ① 新たに管理用道路が整備されたため、堤防道路の利用が促進 (新たな効果)  
 <小学生が通学路に利用>

【利用者 0人/日 ⇒ 50人/日】

- ② 新たに高水敷が整備されたことから、河川内の利用が促進 (新たな効果)  
 <公園の利用>

【利用者 0人/日 ⇒ 10人/日】

①



②



### 【地域の周辺関連事業】

- ③ 県の河川改修が進んだことから、国土交通省千曲川河川事務所により平成16年度～平成19年度に老朽化した樋門 [旧：百々川樋門] を [八木沢川樋門] に改称して整備が進められ全面的に改築を行った。

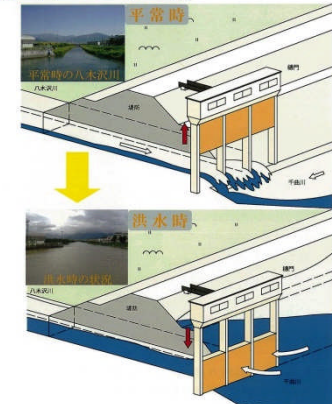
### <浸水被害の軽減>

【流下能力50m<sup>3</sup> ⇒ 70m<sup>3</sup>に向上】

③

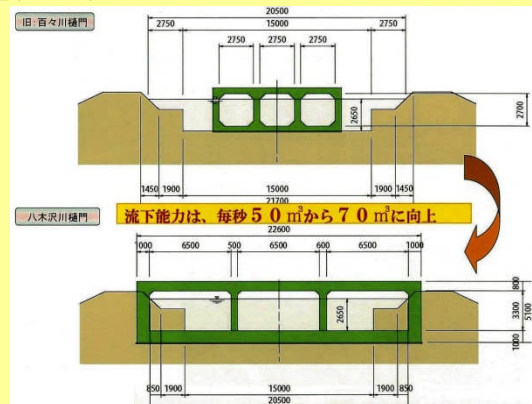


### 樋門の役目

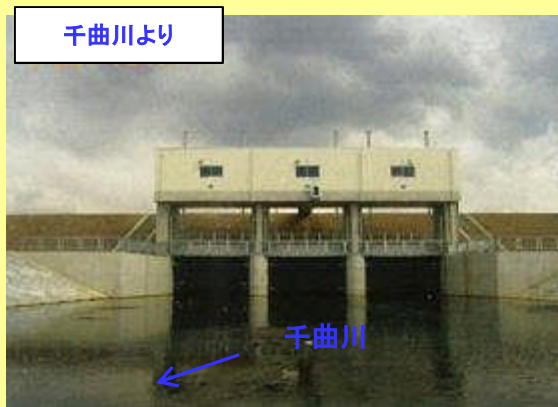


平常時は、多少の降雨でも千曲川の水位が低いいため、八木沢川の水は樋門を通り、自然排水されます。

洪水により千曲川の水位が上昇した時は樋門を閉じ、千曲川の水が逆流しないようにします。八木沢川樋門には、農地等の洪水を防ぐ目的で、相之島排水機場(須坂市)が併設されています。



千曲川より



八木沢川より

